

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>今年度は、保護者と職員のアンケートを2回行い、年度の途中でも取組の見直し・修正ができるようにした。結果においては、「開かれた学校」や「健康・体づくり」の項目において、1回目より高い結果を得た。しかし、達成度が80%満たない項目がまだあるので、これまで同様、学校の取組を発信していき、保護者・地域に理解してもらい、保護者・地域・学校が連携し、児童の成長に向けたよりよい関わりを行っていく。</p> <p>・AIに達成しなかった項目については、その項目と具体的な改善策を明確にし、全職員で共通理解を図り、早急に実践していく。</p> <p>・3部会（反射炉部、藤の花部、少年の像部）で、それぞれの達成行動目標を定め、3部長会等で進捗状況等を随時確認し、学校目標の達成に向けて取り組むことができた。次年度も三部長会や学年主任等会が連動し、学年・学級間で取り組みの足並みをそろえ、より組織的に統一された3部会を推進していく。</p> <p>・教職員の資質向上においては、「わかる喜び できる楽しさを味わい、学びに向かうとする児童の育成」を目指し校内研究の全体授業研究会及び公開授業を行い、外部講師を招聘して資質の向上を図った。次年度は、さらに、ICTの活用をし、「主体的・対話的で深い学び」に向かう児童の育成を目指して研究を推進し、教師力の向上を図っていく。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>ふるさとを愛し、心まことに行動する日新の子の育成 ～「あ・そ・べ・や」でみんな輝く 日新の子～ あ…あいさつ そ…そうじ べ…べんきょう や…やさしい心 みんな輝く…一人一人のよさが輝く</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 基礎学力の充実 ② 好ましい仲間づくりの促進 ③ 心身の「体力」向上</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価		最終評価		主な担当者		
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策シートに示したマイプランの成果指標を達成した教員75%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任 ・反射炉部
	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○「ICTアンケート」で、「ICT等を用いることで学習がよくわかる」と答えた児童が75%以上	・ICT機器を活用した授業を教職員間で見合ったり、情報共有をしたりする。また、有効な手立てを整理し共有することで、授業改善を行う。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任 ・反射炉部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「優しい気持ちで友達に接した」と答えた児童80%以上	・児童の実態に合わせて学年、全校さわやかタイムを計画・実施する。							・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者 ・藤の花部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。							・生徒指導主任 ・教育相談主任 ・藤の花部
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●◎「キャリア・パスポート」を活用しながら、目標に向かって頑張ったと回答した児童80%以上 ●◎「ふるさと「日新」に愛着をもち、大切にしたいと肯定的な回答をした児童8	・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修等の実施 ・社会科、生活科、総合的な学習の時間等の時間に体験的授業を取り入れる。 ・児童に「日新相撲を学ぶ会」等、日新の町に関わる機会を作る。							・教務主任 ・各教科主任 ・藤の花部
	○安心感や信頼感を育む人間関係(仲間)づくり	○「ぼかぼかカードを活用しながら、「お互いによいところがあると思う」と回答した児童80%以上	・道徳・学活等の時間を活用して友達のよさを認めるカードを書いて、掲示する。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童95%以上 ○朝食をとって登校する児童が90%以上	・「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨する。年間3回程度、チェック習慣を設け、日々の生活習慣の振り返りをする。 ・毎月の食育タイムで、望ましい食習慣やマナーについて確認する。							・体育主任(保健主事) ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・少年の像部
	○運動習慣の改善や定着化	○運動やスポーツを行う時間が1週間で300分以上の児童80%以上	・大縄大会などのスポーツイベントを実施する。 ・昼休みの外遊びを推奨する。							・体育主任(保健主事) ・栄養教諭 ・食育推進担当者 ・少年の像部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・毎日業務記録票に記入し、自分の時間外勤務時間を把握する。							・教頭
	○学びやすい、働きやすい職場づくり	○学びやすい、働きやすい職場だと思っている職員が70%以上。	・業務内容の見直し・職場環境の改善等							・教頭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		評価	意見や提言
○特別支援教育の充実	○一人一人の児童を大切に指導・支援の充実	○学級の実態に応じて、意識した授業や教室環境のUD化に努めたと回答する教員が90%以上 ○支援を必要とする児童に具体的な支援を行ったと回答した教員が90%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・全職員での情報共有							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--